



◎ひとり語り芝居 高野聖



鳥山 昌克 [とりやままさかつ] | トム・プロジェクト所属、俳優。主に、唐十郎、蛭川幸雄の舞台作品等に出演。「風のほこり」「盲導犬」(唐十郎)、「海辺のカフカ」「唐版 瀧の白糸」(蛭川幸雄)、「シングアソング」(日澤雄介)、「夏の夜の夢」(シェークスピア、松竹)等のほか、自らの企画・演出・主演による、ひとり語り芝居シリーズ「肩隠しの霊」「菟蓐本」「絵本の春」(泉鏡花)、「楽屋」(清水邦夫)、「銀ヤンマ」「雨のふくらはぎ」(唐十郎)などにも取り組んでいる。

◎筑前琵琶弾き語り



横田 桂子 [よこたけいこ] | 筑前琵琶語り手、女優。筑前琵琶日本橋会会員、筑前琵琶奏者田原順子「察の会」会員。劇団黒テント在籍中(1983-2013)に琵琶と出会い田原氏に師事。以来琵琶の古典曲とともに、役者としての独創的な立場からの創作琵琶語りを手がけ、現代文学作品や今日的なテーマも琵琶で語るようになる。ソロの語りの他に舞踏家や役者、他楽器奏者との共演も行い、国内に様々な中小の空間からフランスなど海外の小劇場、演劇祭などの出演と活躍の場は幅広い。黒テントの演劇と共に始まった旅は琵琶を背負った更に応い世界への語りの旅へと発展している。主な琵琶出演は、2015年仏ジュラ県音楽劇祭「日本の女」、2019年仏パリ、ベルタンボワレ劇場「平家物語抄」、パリ、ケルン、セピリアツアー「行く川の」、2023年チェコツアー児童向け劇「丁髷が盗まれた」、2024年足尾鉾毒事件田中正造記念館「百年の棺桶」の扉の開くを祈りて、アトリエ第Q藝術「鷹の井戸」、マニラUP「いくさものがたり」など。

◎おんなのぼくしさん



撮影/阿部淳

【おんなのぼくしさんプロジェクト】2021年より、互いの肩書を越えた完全なる共同制作の創造を開始。舞踏とキリスト教を巡り「イマジネーションの飛躍/ユートピア/奇跡」を探索し日々変化を続ける共同作品「おんなのぼくしさん」は、創作拠点の今貂子舞踏研究所(京都・東九条)で毎年春に公演を行っている。

飯名 尚人 [いいななおと] | 映像作家、演出家。2002年にメディアとダンスの融合組織 Dance and Media Japan 設立。ビデオダンス専門「国際ダンス映画祭」主宰。オンライン舞踏番組「Re-Butoooh(リプター)」編集長。舞踏を記録した映画作品「三」「愛の夢」を監督。舞台作品「熱風」「ASYL」を脚本・演出。能役者清水寛二と共に現代における能のあり方を探る「雪月花」を主催。

今 貂子 [いまたんこ] | 舞踏家、振付家。1980-94年白虎社に参加。2000年舞踏カンパニー倚羅座結成。2007-16年五條楽園歌舞練場にて連続公演。2016-20年KYOTO舞踏館「秘色」ロングラン上演。2020年「金剛石 -Diamond-」公演にて、令和2年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。芸能の源流の「たまふり(命の活性化)」の力に支えられた舞踏の探求を通じ独自の境地を開拓。

オープニング公演

パーマnent事業 旭坐の自主事業として通年で継続したテーマと内容を実施いたします。

唐十郎球体塾 (2025年2月~)

唐十郎の演劇・映画・音楽・文学などを多面的に知り学び楽しむ。

近松浄瑠璃講座 (2025年度~)

近松門左衛門の浄瑠璃作品を読み解き、新作浄瑠璃も創作する。

無声映画製作所 (2025年度~)

尾上松之助を顕彰して子どもたちとともに無声映画を創作する。

まちラボ井戸端 (2025年度~)

旭川中島の歴史・人物・自然などの魅力を再発見して紹介する。

コモンズトーク (2025年度~)

文化交流コモンズ・旭坐上に多彩なオピニオンを招いて開催する。



[主 幹]

特定非営利活動法人アートファーム
合同会社綾なす織りなす編社

[後 援]

西中島町内会

[助 成]

公益社団法人岡山県文化連盟

旭坐連絡先 | 特定非営利活動法人アートファーム
〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-5 粟山ビル402
(開設係) TEL086-233-5175 / FAX086-294-3764



<http://www.artfarm.or.jp>

info@artfarm.or.jp

[所在地]
岡山市中区西中島町6-15

[交通機関]

岡山駅より路面電車東山線「西大寺町」下車し、東へ京橋を渡り徒歩8分

[駐車場]

旭坐・町内には駐車場はありません
近くの駐車場をご利用下さい